

# 公式記録 (IF) の手順【記録用紙が唯一の公式記録である】

令和5年4月22日  
山口県小学生バレーボール連盟

|  |
|--|
| <p>※<b>試合前</b></p> <p>①体育館や日時等、未記入や未印刷の欄を記入する。</p> <p>②混合の際は、エントリー用紙の男子の名前が○印で囲まれているか確認。</p>   |
| <p>※<b>プロトコール直前</b></p> <p>①キャプテン、監督にサインをもらう(混合の際は、男子の名前の○印を必ず監督に確認)。</p> <p>②サービスのチーム、コートサイドの確認と記入(スコアラーから見て左がAサイド、右がBサイド)。</p>   |
| <p>※<b>プロトコール中</b></p> <p>①公式練習中にセカンドレフェリーと別々にエントリー選手のナンバーの確認。</p> <p>②その他記入できる所は記入する(混合の際は、男子のナンバーの左横にV点を記入)。</p>   |
| <p>※<b>試合開始直前</b></p> <p>①セカンドレフェリーとコート内の6人を確認(セカンドレフェリーとコミュニケーションを取る)。</p> <p>②セカンドレフェリーにサーバーの番号を言い、ボールを渡す(例;左サーブ2番です)。</p> <p>③準備完了ならセカンドレフェリーに向かって両手をあげる。</p>   |
| <p>※<b>試合中</b></p> <p>①サーバーの確認で片手をあげる以外、人差し指はサーバーの得点記入欄から離さない。</p> <p>②サービス権を失ったチームの点数を記入 → ラリーに勝ち、サービス権を得たチームの得点を斜線「/」で消す → 人差し指移動 → 次のサーバーを確認し「V」チェックを入れる。</p> <p>③タイムアウトや選手交代の時は、要求したチームの点数を、それぞれの記入欄の左側に書く。</p>  |
| <p>※<b>タイムアウト</b></p> <p>①記入(1回目は"タイムアウト"欄の上枠、2回目は下枠に、その時点までに得た両チームの得点)。要求チームの点数が左側。IFの得点と得点板の得点を確認する。</p> <p>②同一チームが1セットで2回目のタイムアウトを取った時、セカンドレフェリーに「タイムアウト2回目です」と報告する。</p> <p>③再開の時はコートに12人いる事を確認して両手をあげる。</p> <p>④セカンドレフェリーにサーバーの番号を言い、ボールを渡す(例;左サーブ2番です)。</p> <p>⑤サーバーを確認し片手をあげる。</p> <p>⑥許容回数を超えた要求の時は、セカンドレフェリーに「タイムアウト3回目です」と報告する(不当な要求)。<br/>1回目の不当な要求は注意。2回目拒否+記録用紙の"不当な要求"欄に「×」、3回目以降遅延行為。</p>  |
| <p>※<b>選手交代</b></p> <p>①交代選手の番号が確認できたら片手をあげる(セカンドレフェリーはこれで交代させる事ができる)。不当な要求の時は手をあげずにダメダメと振る。</p> <p>②記入("競技者番号"欄には交代選手の番号、"交代時得点"欄にはその時点までに得た両チームの得点を書く)。要求チームが左側。</p> <p>③記入できたらセカンドレフェリーに両手をあげる(サーバーの確認はもう一度片手をあげる)。<br/>IFの得点と得点板の得点を確認する。</p> <p>④交代選手がコートに入ってベンチに戻った場合は、下の番号に「○」印をつけ、その時点までに得た両チームの得点を下枠に記入する。</p> <p>⑤許容回数を超えた要求の時は、セカンドレフェリーに「メンバーチェンジ3回目です」と報告する。<br/>1回目の不当な要求は注意。2回目拒否+記録用紙の"不当な要求"欄に「×」、3回目以降遅延行為。</p>  |
| <p>※<b>2組以上の選手交代</b></p> <p>①1人ずつ交代する。1人目の選手交代の手順が完了したら両手をあげる。</p> <p>②2人目の交代選手の番号が確認できたら片手をあげる。2人目の選手交代の手順が完了したら両手をあげる。</p> <p>③3人目以降は②を繰り返す。</p>   |
| <p>※<b>選手交代11回目と12回目</b></p> <p>①選手交代の11回目と12回目はセカンドレフェリーに「メンバーチェンジ11回目(12回目です」と報告する。</p>  |
| <p>※<b>ロングサーブ</b></p> <p>①サーバーが違う場合は、片手をあげずに、正しいサーバーの番号をセカンドレフェリーに報告する。間違いかどうか不安な時も、セカンドレフェリーに報告する。<br/>審判団でロングサーブを予防する。ラリーの途中やボールデッドになった後でわかった時には、わかった瞬間にセカンドレフェリーに大声で叫ぶ。</p> <p>②ロングサーブがわかった時は、相手チームに1点と次のサービスが与えられる。</p> <p>③選手のサーブ順は正しく直される。</p> <p>④チームがロングサーブをしている間に得た全ての得点は取り消される。相手チームの得点はそのまま有効となる。</p> <p>⑤間違っていた点数部分は縦線「 」で消す。その後得た点数を逆斜線「\」で消し、「×」印で得点を示す。</p> <p>⑥セカンドレフェリーに誤ったチームの正しいサーバーと次のサーバー、相手チームの次のサーバーを説明する(セカンドレフェリーはゲームキャプテンに説明する)。</p> <p>⑦記録を訂正した事がわかるように、"特記事項"欄に「第何セットAチーム:Bチーム ? : ? のとき、A or Bの得点を取消した」と記入する。</p> |
| <p>※<b>罰則の記録</b></p> <p>①公式記録記入法III.試合中3.7罰則の記入の項を参照。</p>  |
| <p>※<b>セット、ゲームの終了</b></p> <p>①最終得点の吹笛直後、記入前にセット(ゲーム)の終了のハンドシグナルを出し、セカンドレフェリーに報告する。続いてセカンドレフェリーがファーストレフェリーに報告する。</p>  |
| <p>※<b>試合後</b></p> <p>①試合後の記入は公式記録記入法IV.試合後の項を参照。</p> <p>②両チームのキャプテンのサインをもらった後は、ファーストレフェリー・セカンドレフェリーとともに本部席にある記録集計席へ移動して集計をする。</p> <p>③ファーストレフェリーのサインをもらったら、IF用紙をファーストレフェリー・セカンドレフェリーに渡し、本部に提出してもらう(小学生が記録の場合)。</p>  |
| <p>※<b>その他</b></p> <p>①ファーストレフェリー・セカンドレフェリーとアイコンタクトを良く取る。</p> <p>②ラリー中は顔をあげ、ファーストレフェリーのハンドシグナルに従って記録する。</p> <p>③サーブ順や得点等で不安な時、困った時はセカンドレフェリーに報告する。正しい事を確認してから再開する。</p> <p>④記載ミスをした場合は、二重線「=」で消す。</p>   |